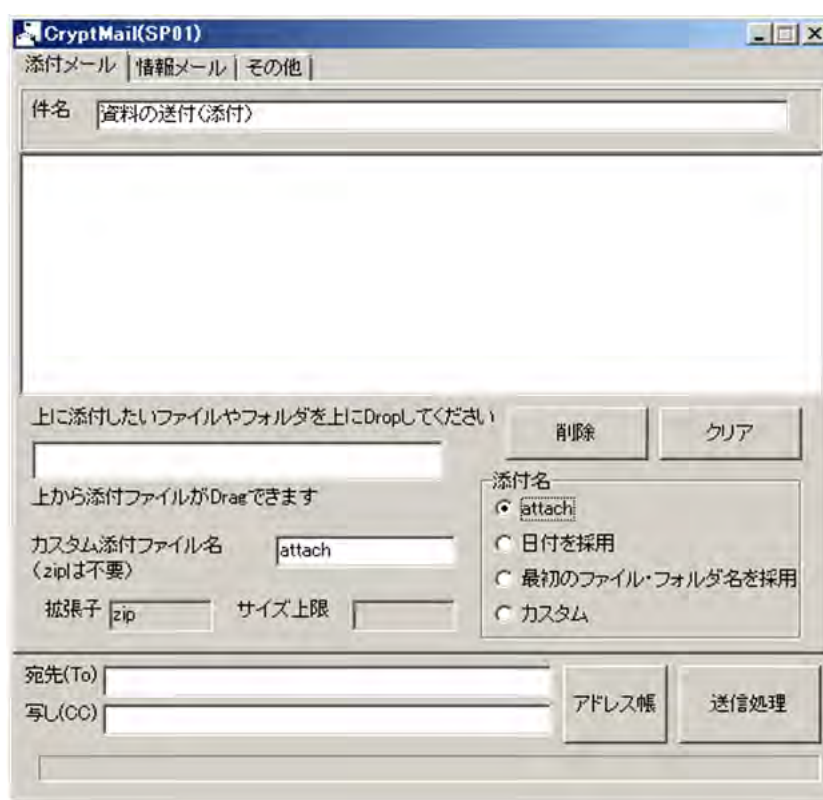


# ZIPパスワードメールプロフェッショナル版 インストール操作マニュアル



開発・販売元

# OLIVE<sup>®</sup>

オリーブ情報処理サービス株式会社

住 所 北海道札幌市中央区大通西6丁目5-4  
58山京ビル 3F

H P <http://www.olive.co.jp>

E-mail [inquiry@olive.co.jp](mailto:inquiry@olive.co.jp)

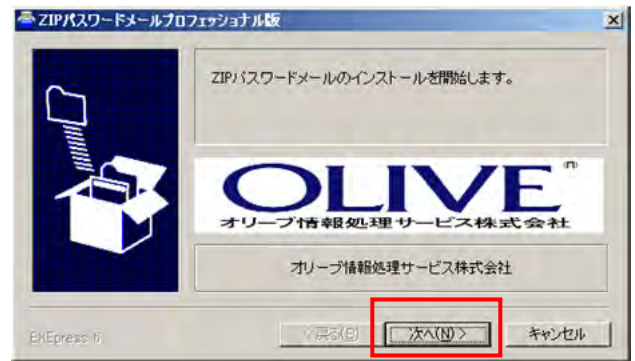


# インストールマニュアル

# システムインストール

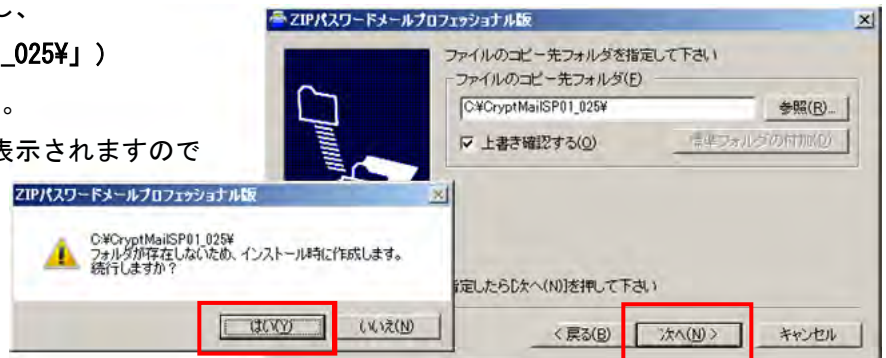
## 1. セットアップCD内

「setup.exe」をダブルクリックしてください。  
「ZIPパスワードメール」SETUP画面が起動します。  
インストール画面が表示されますので  
「次へ」ボタンをクリックします。

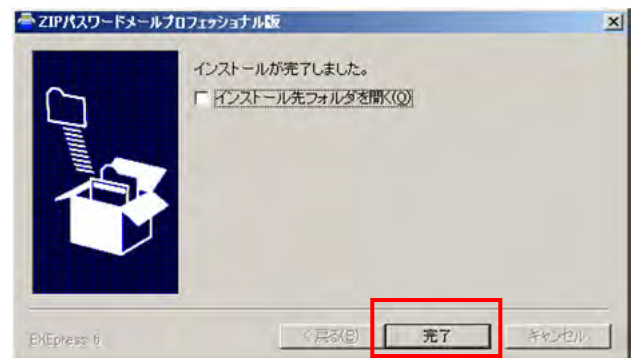


## 3. インストール先フォルダを指定し、 (デフォルト「C:\CryptMail\SP01\_025\」)

「次へ」ボタンをクリックします。  
フォルダ作成確認メッセージが表示されますので  
「はい」を選択します。

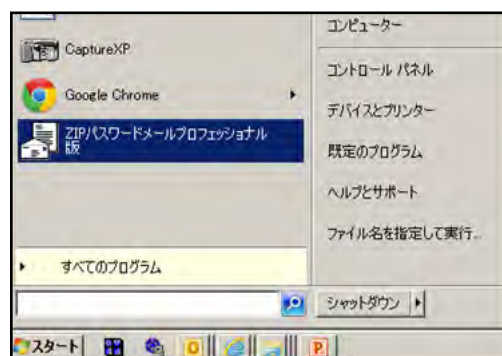


## 4. インストール先の確認画面が表示されますので 「次へ」ボタンをクリックすると、 インストールを開始します。



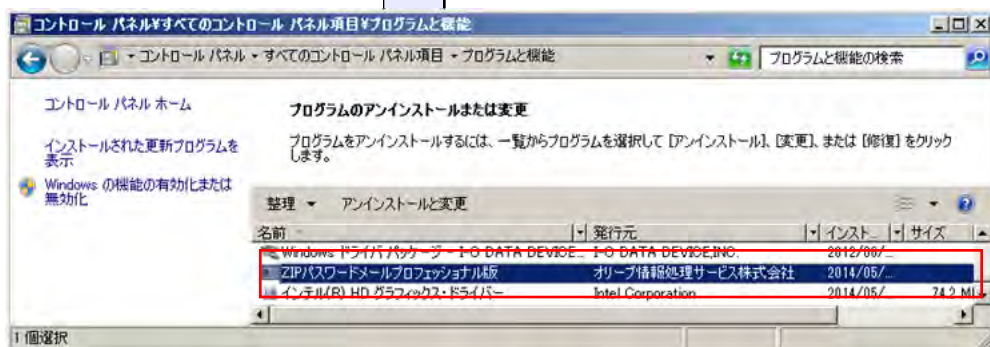
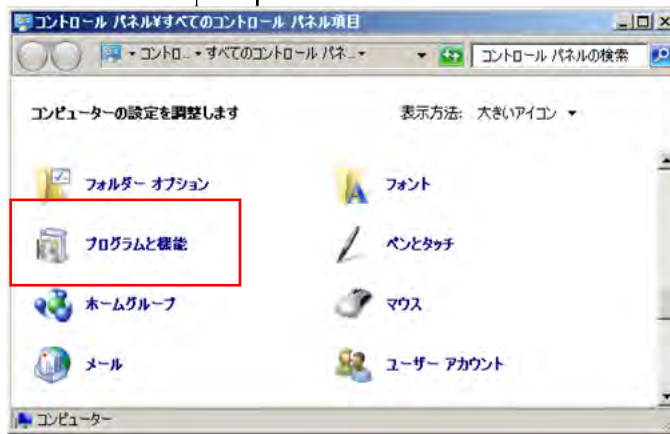
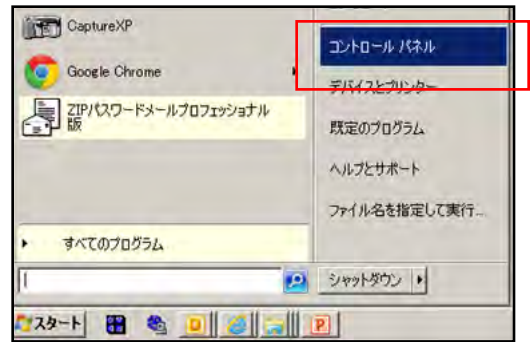
## 5. コピーが始まりますので、しばらくお待ちください。 インストール完了後、テキストファイルが開きますので閉じて終了してください。

デスクトップとスタート→プログラムに「ZIPパスワードメール」のアイコンが作成されます。

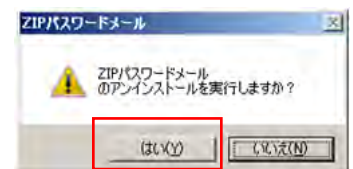


# システムアンインストール

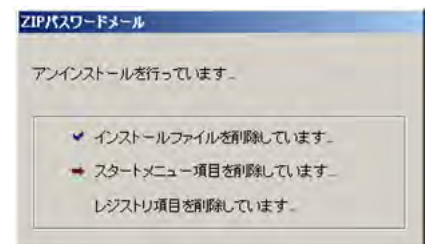
スタートアップからコントロールパネルを選択し、「プログラムと機能」からアンインストールを行ってください。




ZIPパスワードメールを選択



アンインストール終了



 **注意**

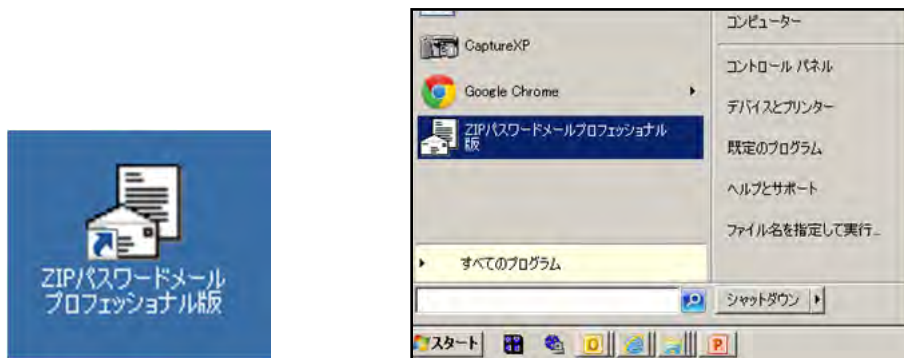
システムのアンインストール後、システムフォルダが残る場合があります。PCを再起動しても削除されない場合は手動で削除してください。



# 操作マニュアル

# システムの起動

デスクトップまたはスタート→プログラムの「ZIPパスワードメール」から起動してください。



乱数で暗号化されたZIPファイルを、簡単にメールできるようにしたソフトです。

## ●使い方

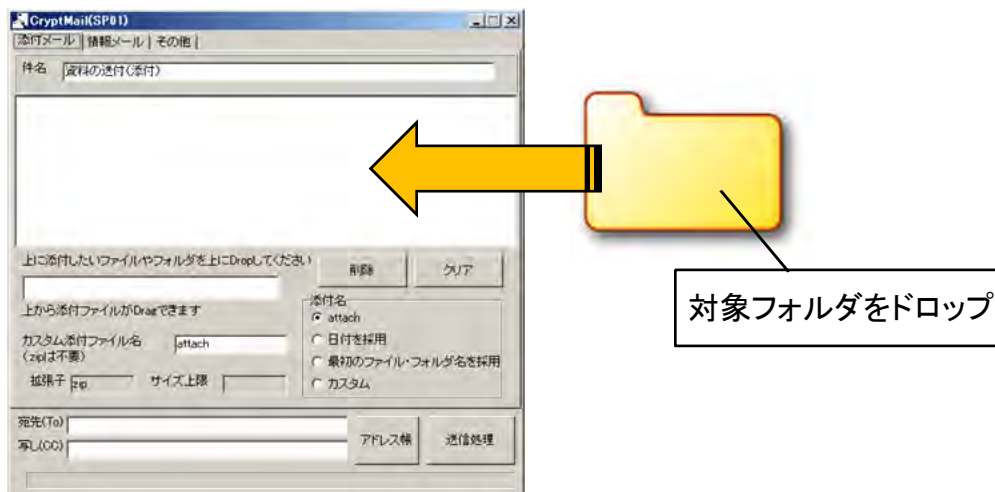
添付したいファイル、フォルダをDropして「送信処理」ボタンをクリック

1. ファイルを乱数の文字で暗号化

2. その文書を作成

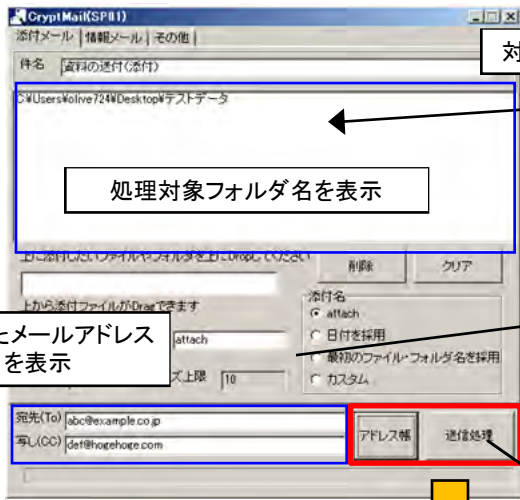
3. メーラーを立ち上げる

メールは手動で送信します。

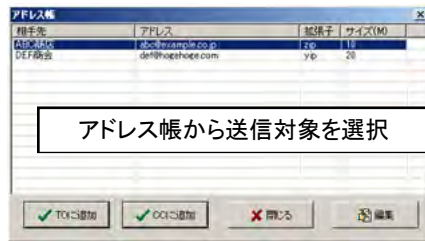




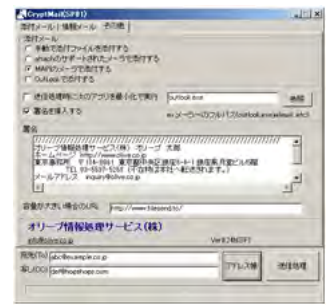
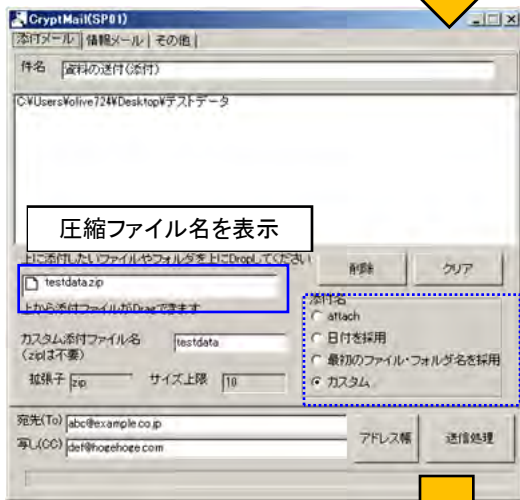
# ●処理の流れ



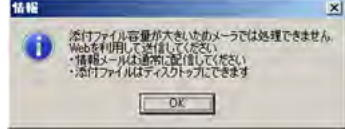
選択したメールアドレス  
を表示



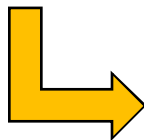
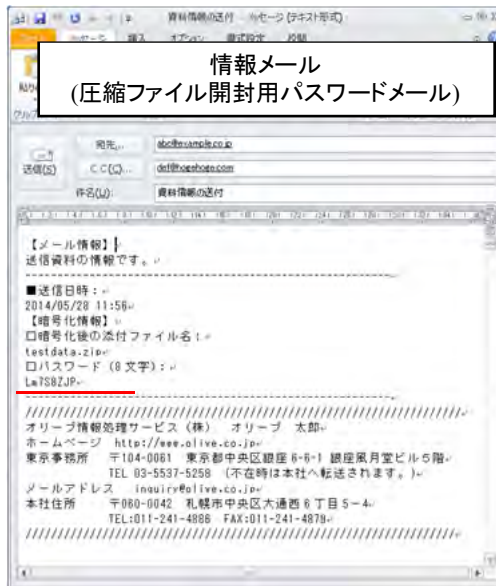
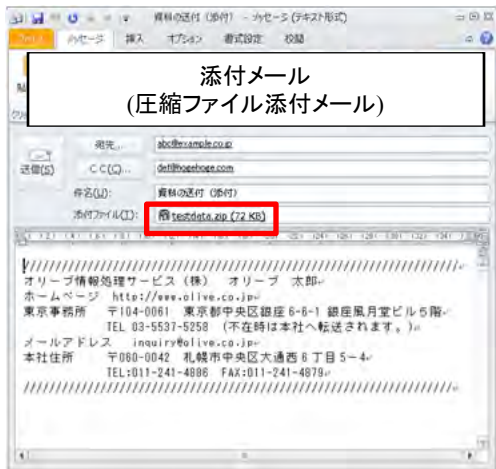
送信処理ボタンをクリックすると、  
設定に従ってファイルの圧縮とメール作成を行います。



設定サイズよりファイルサイズが大きくなる場合、  
圧縮ファイルはメールに自動添付されず、  
デスクトップに保存されます。



設定したメーラーでメール本文が起動



メール送信

#### ◆添付メールタブ

ZIPファイルを添付するメールの件名と、添付ZIPファイル名を設定します。

件名: 添付メール件名を設定します。

件名下の空白部分に添付したいファイルまたはフォルダをドラックします。

添付名: 圧縮ファイルのファイル名指定方法を4種類から選択します

宛先(to): 送信先メールアドレスを設定します。

「アドレス帳」ボタンをクリックするとアドレス帳が立ち上がります。

アドレス帳を編集した場合、編集終了後にアドレス帳を再起動して反映させてください。

アドレス帳データはaddressフォルダ内 address.txt で保存されています。

1 配信先1行→配信先名, メールアドレス, 拡張子, ファイルサイズ制限 と設定してください。

Toアドレス入力方法補足

- ・メーラーのアドレス帳からドラック、該当部分でドロップ(サンダーバードなど)
- ・メーラーのアドレス帳からコピー、該当部分でペースト
- ・メーラーからアドレス帳をCSVでエクスポートし、CSV形式でaddress¥address.txtに記載する。(アドレス帳から選択できるようになる。)

#### ◆情報メールタブ

パスワードお知らせメールの件名と本文を設定します。

件名: パスワードお知らせメール件名を設定します。

本文: パスワードお知らせメール本文となります。

%DATE%は作成日時に置換されます。

%PASS%はパスワード(8桁)に置換されます。※変更しないでください。

※メール本文、署名の雛形はtempフォルダ以下にテキスト形式で保存されています。

・body.txt →情報メールタブ、パスワードお知らせメール本文となります。

%DATE%は作成日時に置換されます。

%PASS%はパスワードに置換されます。

・sign.txt →その他タブ、署名となります。

※署名は添付メール、パスワードお知らせメール共通です。

・body\_sign.txt→添付メールのサンプルです。

※宛先(to)は添付メールタブと共用

#### ◆その他タブ

ZIPファイルを添付するメールの作成形式と署名情報の設定、メールソフト関連の設定を行います。

「情報メール(パスワードお知らせメール)」は添付がないので安全なmailtoで起動します。

「添付メール」は添付の必要があり、方式として4種から設定します。

1. 手動で添付ファイルを添付する:

一般的なメーラーでmailto:でattach=がサポートされていないもの。

以下の例外を除いては殆どがこれに該当します。

Sylpheed等 ※この場合はアプリから手動でDragDropすると添付可能です。

2. attachのサポートされたメーラーで添付する:

メーラーでmailto:でattach=がサポートされているもの→nPOP等

3. MAPIのメーラーで添付する:

メーラーでMAPI対応のもの。

・Microsoft Outlook Express

・Microsoft Windows Live Mail

・Mozilla Thunderbird

・Becky!

・Shuriken

・Eudora (Ver6以上)

・Mozilla Mail

・Netscape Mail等

※MicrosoftOfficeのMicrosoft Outlookだけは特殊、。

4. Outlookで添付する

メーラーで対象はMicrosoftOfficeのMicrosoft Outlookのみ。

事前にMicrosoft Outlookを起動してください。

起動せずに処理した場合、パスワードメールが2つ立ち上がる場合があります。

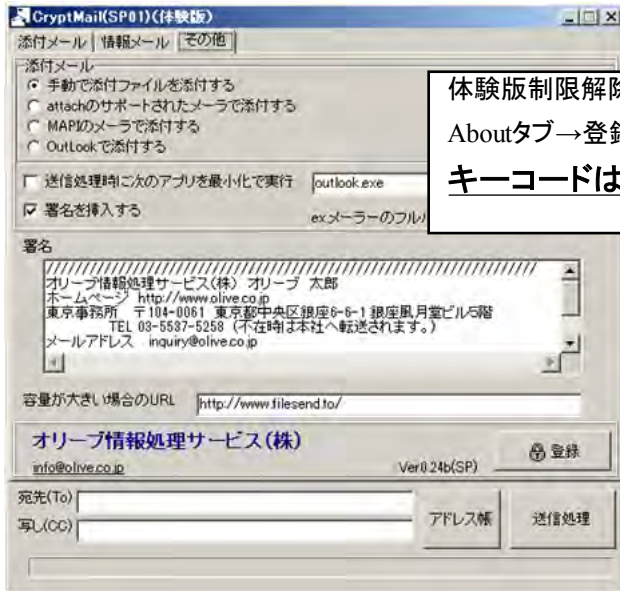
送信処理時に次のアプリを最小化で実行: 処理時にメーラーを起動します。

フルパスで対象メーラーを設定してください。

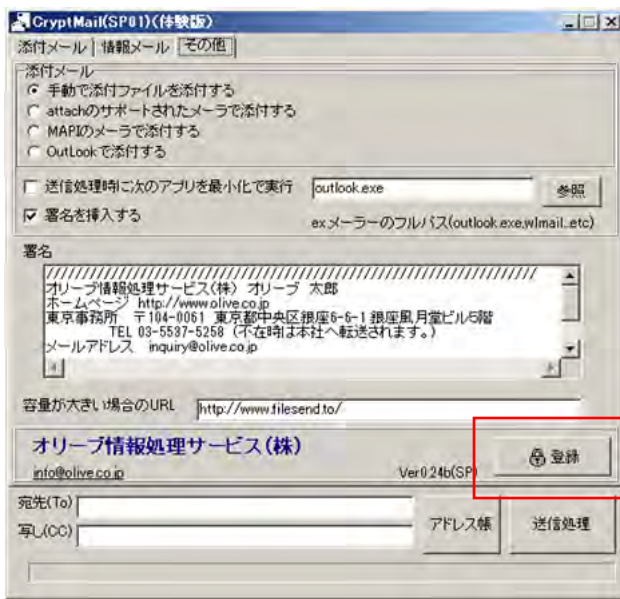
Microsoft系メーラーの場合、メーラーを起動せずに処理するとメール作成がうまく行われな可能性がります。

署名: 添付メール、パスワードお知らせメール共通の署名情報を設定します。

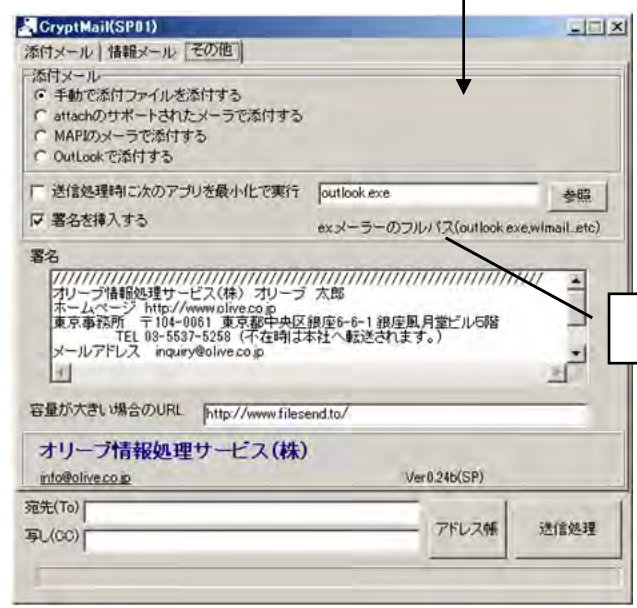
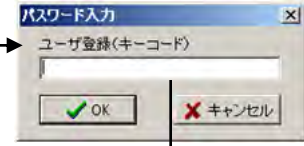
# ①体験版制限解除



体験版制限解除を行ないます。  
Aboutタブ→登録ボタンをクリックしてキーコードを入力してください。  
キーコードはライセンス証書に記載されています。



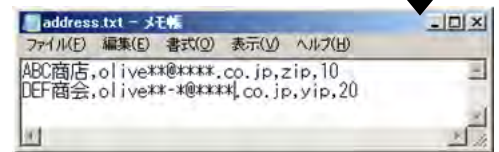
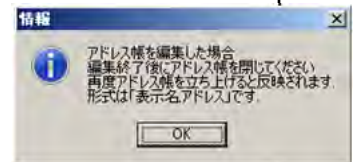
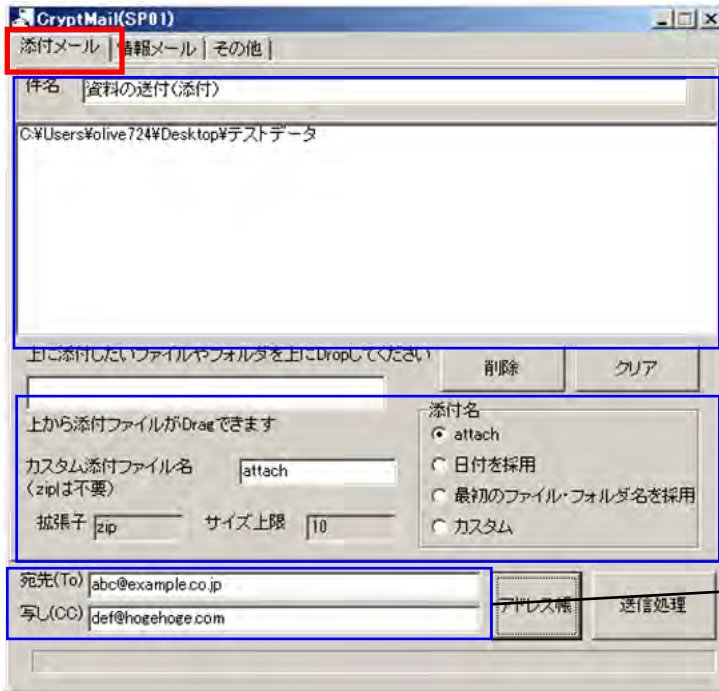
キーコードを入力



体験版制限解除

## ② 添付メールタブ

ZIPファイルを添付するメールの件名と、添付ZIPファイルのファイル名を設定します。

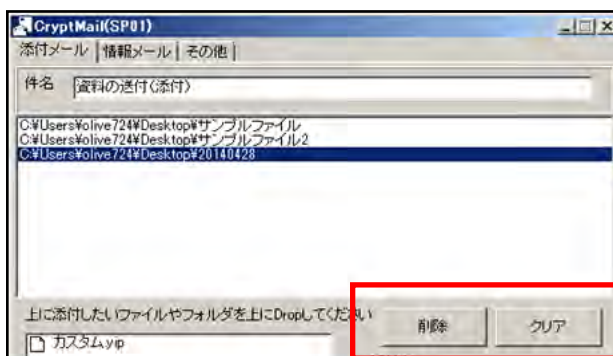


・件名: 添付メール件名を設定します。  
件名下の空白部分に添付したいファイルまたはフォルダをドラッグします。  
対象データがフルパスで表示されます。  
※複数件一括処理はできませんのでご注意ください。

・添付名: 圧縮ファイルのファイル名指定方法を4種類から選択します

・宛先(to)、写し(CC): 送信先メールアドレスを設定します。  
「アドレス帳」ボタンをクリックするとアドレス帳が立ち上がります。  
アドレス帳を編集した場合、編集終了後にアドレス帳を閉じてください。  
再度アドレス帳を立ち上げると反映されます。  
アドレス帳データはaddressフォルダ内 address.txt で保存されています。  
配信先名、メールアドレス、拡張子、size(M) と設定してください。  
※size(M)は添付ファイルのファイルサイズ制限を設定します。  
作成例)

相手先名	メールアドレス	拡張子	size(M)
有限会社オリーブ建設	olive**@****.ne.jp	zip	10
オリーブ電気(株)	olive**@****.ne.jp	xip	20



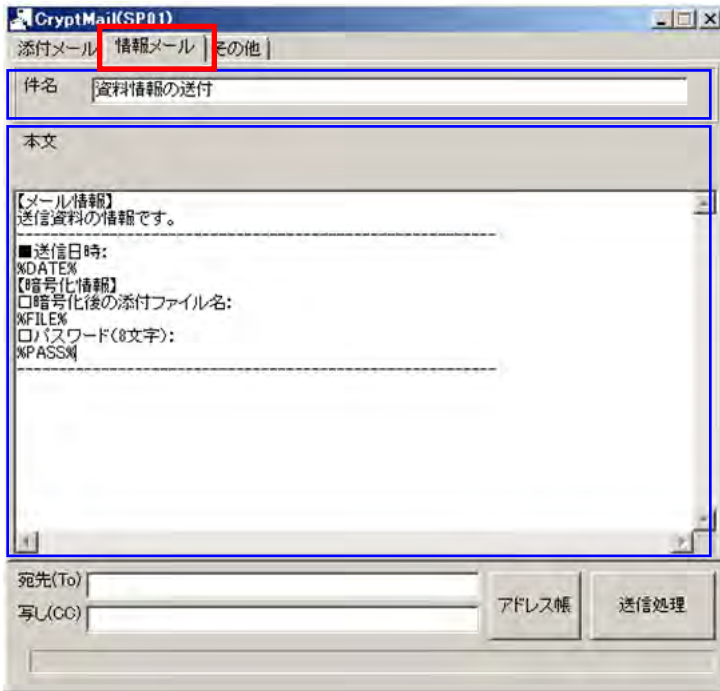
・削除ボタン: 件名下にドラッグ→表示された処理対象データについて、選択部分のみ削除します。  
・クリアボタン: 処理対象データを全件削除します。

※ご注意※

処理後の圧縮ファイルはシステムフォルダ内zipフォルダに直前のものが保存されますが、  
削除、クリアで削除されますのでご注意ください。  
また、送信処理ごとに前回処理のものは削除され、最新の圧縮ファイルのみ保存されます。

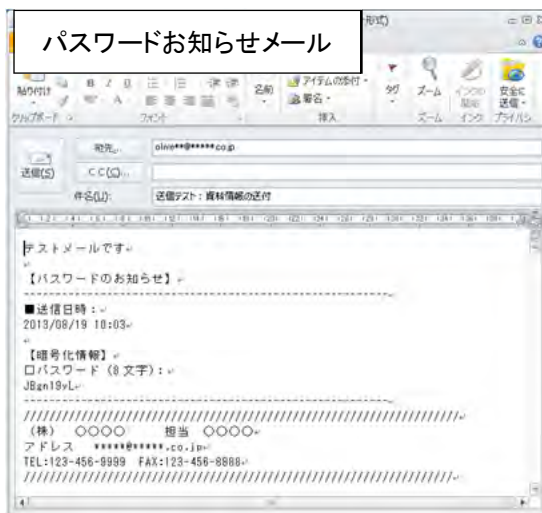
### ③ 情報メールタブ

パスワードお知らせメールの件名と本文を設定します。



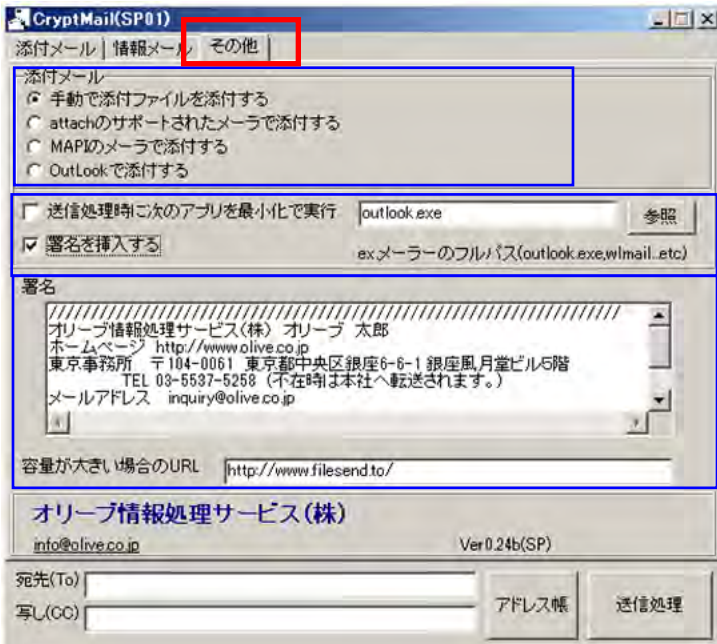
- ・件名:パスワードお知らせメール件名を設定します。
- ・本文:パスワードお知らせメール本文となります。
  - %DATE%は作成日時に置換されます。
  - %PASS%はパスワード(8桁)に置換されます。※変更しないでください。
  - ※メール本文、署名の雛形はtempフォルダ以下にテキスト形式で保存されています。
- ・body.txt →情報メールタブ、パスワードお知らせメール本文となります。
  - %DATE%は作成日時に置換されます。
  - %PASS%はパスワードに置換されます。
- ・sign.txt →その他タブ、署名となります。
  - ※署名は添付メール、パスワードお知らせメール共通です。
- ・body\_sign.txt→添付メールのサンプルです。

※宛先(to)、写し(CC)は添付メールタブと共用



## ④ その他タブ

ZIPファイルを添付するメールの作成形式と署名情報の設定、メールソフト関連の設定を行います。



「情報メール(パスワードお知らせメール)」は添付がないので安全なmailtoで起動します。

「添付メール」は添付の必要があり、方式として4種から設定します。

### ・添付メール

#### 1. 手動で添付ファイルを添付する:

一般的なメーラーでmailto:でattach=がサポートされていないもの。  
以下の例外を除いては殆どがこれに該当します →Sylpheedなど  
※この場合はアプリから手動でDragDropすると添付可能です。

#### 2. attachのサポートされたメーラーで添付する:

メーラーでmailto:でattach=がサポートされているもの→nPOPなど

#### 3. MAPIのメーラーで添付する:

メーラーでMAPI対応のもの。

- ・Microsoft Outlook Express
- ・Microsoft Windows Live Mail
- ・Mozilla Thunderbird
- ・Becky!
- ・Shuriken
- ・Eudora (Ver6以上)
- ・Mozilla Mail
- ・Netscape Mail 等

#### 4. Outlookで添付する

メーラーで対象はMicrosoftOfficeのMicrosoft Outlookのみ。

事前にMicrosoft Outlookを起動してください。

起動せずに処理した場合、パスワードメールが2つ立ち上がる場合があります。

### ・送信処理時に次のアプリを最小化で実行: 処理時にメーラーを起動します。

フルパスで対象メーラーを設定してください。

Microsoft系メーラーの場合、メーラーを起動せずに処理するとメール作成がうまく行われな可能性もあります。

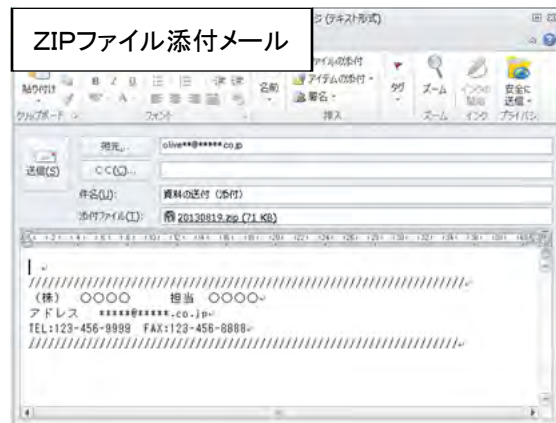
事前にメーラーの起動をお勧めします。

### ・署名: 添付メール、パスワードお知らせメール共通の署名情報を設定します。

☐署名を挿入する をチェックして使用します。

### ・容量が大きい場合のURL: アドレス帳→size(M)で設定したファイルサイズを越える添付ファイルの場合、ここで設定したサイトがお使いのブラウザで開きます。

※宛先(to)、写し(CC)は添付メールタブと共用



**【64bitでの制限】**

64bitのWindowsでMAPIを使う場合はメーカーが正しく立ち上がらない場合があります。

このMAPIは32bitのため、64bitでも立ち上がりに必要なファイルをセットすれば動作可能です。

WindowsLiveMailの場合は以下のdllファイルを (32bit)

C:\Program Files (x86)\Windows Live\Shared\uxcalendar.dll

C:\Program Files (x86)\Windows Live\Shared\uxcontacts.dll

C:\Program Files (x86)\Windows Live\Shared\uxcore.dll

C:\Program Files (x86)\Windows Live\Shared\wldcore.dll

C:\Program Files (x86)\Windows Live\Shared\wldlog.dll

C:\Program Files (x86)\Windows Live\Shared\wldidx.dll

C:\Program Files (x86)\Common Files\microsoft shared\Windows Live\wldcli.dll

↓

C:\Windows\SysWOW64 フォルダにコピーすることで対応してください。(32bit)

その他、エラー時表示されるdllファイルを32bitの(x86)から探して

C:\Windows\SysWOW64

へコピーすれば動作するようになります。